7 研究開発

1. スチール研究所体制

研究所組織

企画部門

部	◎本拠地区		○駐在地区			
	千葉	京浜	知多	倉敷	福山	仙台
研究企画部	◎	○		○	○	

商品開発技術

研究部	◎本拠地区		○駐在地区			
	千葉	京浜	知多	倉敷	福山	仙台
薄板加工技術	◎				○	
薄板	◎				○	
表面処理	◎				○	
構造材料		○		◎	○	○
鋼管・鋳物			◎			
電磁鋼板				◎		
ステンレス鋼・鉄粉	◎					
サステナブルマテリアル	◎	○				

プロセス技術

研究部	◎本拠地区		○駐在地区			
	千葉	京浜	知多	倉敷	福山	仙台
カーボンニュートラルプロセス	○	◎			○	
製銑	○				◎	
製鋼	○				◎	
スラグ・耐火物	○				◎	
圧延・加工プロセス	○			○	◎	

共通基盤技術

研究部	◎本拠地区		○駐在地区			
	千葉	京浜	知多	倉敷	福山	仙台
サイバーフィジカルシステム		◎			○	
インフラ建材		◎				
接合・強度	◎					
マテリアルズインテグレーション	○	◎			○	

2. 研究開発費（連結）

（金額：百万円）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
研究開発費	35,779	39,577	40,200	38,946	39,111
売上高比率	1.13%	1.02%	1.08%	1.15%	1.26%

3. お客様と一体となった技術開発施設

当社は、業界で初めて、お客様と一体となり共同研究できる試験・研究施設を開設し、常に最先端のレベル維持を指向している。

◆お客様が抱える技術課題を、共同作業を通じて解決
◆加工性・衝撃性・耐久性予測等のシミュレーション技術を駆使し、お客様のニーズにマッチした材料・加工技術を提供
◆お客様のニーズを先取りした先進技術開発、設備導入
◆お客様との協創により、潜在ニーズの先取り、革新的次世代材料、加工技術開発をスピードアップ

カスタマーズ・ソリューション・ラボ（Customers' Solution Laboratory：CSL）

2005 年　8 月　千葉地区開設
2019 年 12 月　館内を全面リニューアル

コンセプト
自動車分野のお客様への新材料の紹介、利用技術の提供により、EVI（Early Vender Involvement/自動車の開発初期段階からの参画）活動を推進



カスタマーズセンター福山（CCF：Customers' Center Fukuyama）

2014 年　5 月　スチール研究所（福山地区）新本館へ移転
2014 年 10 月　カスタマーズセンター福山（CCF）開設

コンセプト
自動車・鋼材分野の EVI 活動の拠点



溶接、破壊・疲労研究開発拠点（JFE Welding Institute：JWI®）

2019 年　2 月　千葉地区大型破壊・疲労評価センター：JWI-CIF²® 開設
（Center for Integrity against Fatigue and Fracture：CIF²）
2019 年　2 月　CIF² 開設に伴い溶接実験エリアを JWI-ArC® に改称
（Advanced welding & joining Research Center：ArC）
2025 年　4 月　JWI-ArC® を全面リニューアル

コンセプト
世界中のお客様が頼りにする溶接・破壊・疲労研究拠点

